

活動やニーズ、「志」でつながろう。

# ライブラリル



毎号「みやぎNPO情報ライブラリー※」登録団体の中から、ひとつをご紹介します。

※NPO・市民活動団体の皆さんから活動に関する情報をお預かりして、地域の市民・企業など社会一般に広く公開・発信する情報発信支援事業です。

## 今回は 特定非営利活動法人 仙台夜まわりグループ

<http://fields.canpan.info/organization/detail/1247969742>

事務局次長 青木淳子さんにお話を伺いました。

### 活動内容

仙台市内で路上生活者の安否確認をするために、たった3名で2000年頭から始めた「夜まわり活動」ですが、現在は働き手と活動範囲が増え、炊き出し・食事会・セミナーもそれぞれ月1回行うようになりました。

また、みやぎNPOプラザで開催する「ゆっくり過ごす会」では、食事と休息の場を提供し、路上生活者の状況把握や関係づくりに努めています。

一方、仙台市の委託事業としては、シャワー・洗濯の機会を提供する衛生改善事業があります。助成事業としては、有償の清掃ボランティア作業を行い、自立促進事業では、雑誌『ビッグイシュー』の販売取次、簡易住宅提供、2013年10月開設の「HELP! みやぎ～生活困窮者ほっとライン～」の他、雇用創出事業として、リユース事業と借用農地での農作業などを行っています。

以上の実施経験を基に、路上生活者の顔と名前を一致させる仕方では出会いと支援を繰り返しています。その上で、当事者の抱える様々な問題に寄り添いながら「できる時に、できる人が、できることを」を基本に、自立への後押しを続けています。



仙台夜まわりグループ  
事務局次長 青木淳子さん

### 現在の活動での、注目ポイント

生活困窮者自立支援法の施行後は、官民を挙げて様々な支援が展開されていますが、相反して、仙台市内の路上生活者は、この数年100人を割らず、自立した数と同数か、それ以上に増える傾向が続いています。

一因として、震災後の復興事業や除染作業をあてに全国から訪れた労働者が、解雇や派遣の更新拒否などの理由で職を奪われ、別な仕事が見つからなかったり、貯蓄や稼ぎが底を突いたことが挙げられます。

ゆとり教育時代には、学校等の研修や講演で啓発する機会が多かったのですが、震災後は少なくなりました。近年の雇用状況の変化からか、「求職者が住まいに困っているので支援してほしい」とハローワークから要請が来ることもあり、行政や学校で普及啓発活動する重要性を感じています。

また最近では、ネットカフェやコンビニ、終日営業店などで夜を過ごす30～40代の不安定居住者が増えており、今後もその数は増えると予想

されます。全体数の把握が困難になる昨今、どのような支援ができるかが課題です。

片や支援されている路上生活者の方々は、月3回の有償清掃ボランティアの他、春は花見客の多い西公園、秋は芋煮会が行われる広瀬川河畔にて、場所取りの学生や酔い潰れて寝ている方の合間を縫いながらゴミ拾いを行い、仙台市内の行楽環境を陰ながら支えています。

### 読者のみなさんへのメッセージ

路上生活者の方々は、冬になると、夜間に凍死しないようひたすら歩き続け、昼間に施設等が開くと、そこでようやく眠りに就きます。

そのような、昼間にまどろむ姿を見て、「自分は路上生活者にならない」「路上生活者になるのは本人の努力不足」と考える方はまだ多いようです。

しかしながら、路上生活者の背景に共通するのは、親、親族、地域など、周囲の人々との「最後の関係性」を失ったことです。物理的に家が無い「Houseless」という状態ではなく、社会との接点を喪失したからこそ「Homeless」になるのです。それは、核家族化や個人主義が進む現代社会においては、誰にでも起こりうる事態ではないでしょうか。

また、路上生活に陥るまでの過程には、雇用だけでなく、当人の病気や障害といった交錯した問題があるため、必死に努力しても上手く行かず、社会の中で散々傷ついた人を、そのまま再び同じ環境に戻して良いのかという疑念が拭えません。

努力できる条件下にある人と、努力できない条件下にある人が混在する現代においては、誰もが努力できるような条件を整えることも、社会の役割の一つではないでしょうか。

私達は、最初から活動を大きく広げたいと思ってここまで来たのではなく、当事者の切なる願いを叶えたいという一心で活動を続けてきました。これからの時代は、「目に見えない路上の存在」に気付ける方々が増え、セーフティネットの厚く深く巡らされる社会となり、私たちの支援活動さえも必要なくなる日が来ることを願っています。

お問い合わせは 特定非営利活動法人 仙台夜まわりグループ  
TEL & FAX: 022-783-3123  
Mail: yomawari@medialogo.com

### 次号の団体は

仙台夜まわりグループ 青木淳子さんよりご紹介  
特定非営利活動法人 あなたの街の三河やさん

高齢者、障害者、入院患者など、「生活弱者」と呼ばれる方々が、安心・安全・明るい生活を送れるよう、買物代行や安否確認、ゴミ出し等のお手伝い(御用聞き)をご提供し、地域や商店街の活性化にも貢献しています。



(高荷聡子)